

令和5年度 地方創生アドバイザー事業

| NO. | 都道府県 | 市区町村  | 事業名  | 事業概要   | 採択額<br>(千円) |
|-----|------|-------|--|--|-------------|
| 1   | 北海道  | 由仁町   | ドローンを活用したスマート農業現場実装アドバイザー事業                      | 専門家を招聘し、町内ドローン所有者や、由仁町農業再生協議会を対象にドローンを活用した各種技術についてアドバイスを受ける。   | 200         |
| 2   | 岩手県  | 大船渡市  | 健康増進計画の策定  | ○アンケート調査の設問内容への助言・指導<br>○アンケート集計の評価への助言・指導<br>○市の健康課題の分析について助言・指導<br>○健康づくり推進協議会での第2次計画の評価と第3次計画の方向性に関する助言<br>○第3次計画案への助言・指導<br>○健康づくり推進協議会での計画案協議への助言   | 195         |
| 3   | 秋田県  | 能代市   | 出会い創出支援事業  | ○婚活コーディネーターをアドバイザーとした打合せ等を4回実施<br>○独身男女向けハンドブックを制作   | 100         |
| 4   | 千葉県  | 一宮町   | 職員の情報発信力強化講座                                     | 町の総合戦略で掲げている「住民目線の情報発信力強化」について具体的に取り組んでいくためにも、広報担当だけでなく、全職員が広報担当という意識をもち、広報の重要性を認識し、効果的な情報発信の仕方等を学ぶ。   | 165         |
| 5   | 東京都  | 羽村市   | 継続的に若手職員のレベルアップを図り、「オールはむら」で地方創生に取り組む            | ・若手職員を対象に全5回の研修を実施し、うち3回でアドバイザーによる講義を実施する。<br>・講義を踏まえ、シティプロモーション事業を企画・立案することで、若手職員のスキルアップにつなげ、担当部署の事業の中で活かしていくことで、職員のレベルアップを図り、「オールはむら」で地方創生に取り組む。   | 60          |
| 6   | 神奈川県 | 茅ヶ崎市  | 公民連携人材育成事業                                       | ○アドバイザーを講師とした研修を年間2回開催予定<br>○公民連携の意義、必要性を理解し、積極的に民間事業者と対話を行える市職員を一人でも多く育成<br>○研修に参加した職員については、公民連携推進のためのワンストップ窓口で相談が来た案件について、積極的に対応する役割を担っていく予定   | 200         |
| 7   | 神奈川県 | 開成町   | 協働のまちづくり講座                                       | ○アドバイザーを講師とした講座を年1回開催<br>○自治会と地域の団体・企業等が連携して事業実施することにより、継続した自治会活動を支援<br>○開成町民活動サポートセンター利用登録団体と自治会のマッチングを支援し、連携を促進  | 108         |
| 8   | 新潟県  | 上越市   | 地域コミュニティ活動サポート事業                                 | ○地域コミュニティの課題解決に取り組もうとする町内会等に対し、地域づくりアドバイザーを派遣し、全2回の話し合い支援を実施<br>○前年度に話し合いを実施した町内会に対し、地域づくりアドバイザーを派遣し、取組の振り返りや見直しを実施  | 144         |
| 9   | 福井県  | 福井市   | ウィズコロナ時代の地域づくり研修会                                | アドバイザーを講師とした講座で地域活動が継続されることの重要性、ウィズコロナに適応した地域活動の先進事例の紹介  | 140         |
| 10  | 岐阜県  | 各務原市  | まちづくり担い手マッチング事業                                  | マッチング交流会の実施  | 39          |
| 11  | 兵庫県  | 川西市   | 川西市教育大綱策定に向けたアドバイザー活用事業                          | ●アドバイザーが参加する意見交換の場を年7回開催<br>●アドバイスを踏まえ、教育大綱を策定<br>●教育大綱に基づき、各種教育施策を展開していき、市民が教育行政に関わることができるような仕組作りを推進  | 200         |
| 12  | 奈良県  | 十津川村  | SDGsへの貢献と観光を活用した持続可能な地域づくり普及促進事業                 | 十津川高校と連携して取組を推進<br>●具体的な取組⇒高校の学課「ふるさと学と連携」し事業を展開<br>①講師招聘<br>②成果発表会「(仮称) 秘境高校生サミット」を開催<br>⇒徳島県の池田高校とオンラインで繋がり、地域づくり取り組みを相互発表<br>⇒成果発表会をサミットと位置づけることで、毎年高校生が自分たちの取組を発表する機会ができ、相互の発表を共有することで取組の相乗効果を期待 | 166         |
| 13  | 和歌山県 | 和歌山市  | 伝わる情報発信によるSDGs連携                                 | アドバイザー2名を講師として、講座を開催   | 200         |
| 14  | 和歌山県 | 橋本市   | 農村における関係人口等の確保に向けたアドバイザー活用事業                     | 橋本市信太地区の豊かな自然環境や地域資源を活用した関係人口等の構築と自立した地域を目指すため、関係人口の確保を専門分野とする講師を招聘し、地域資源(事前環境や公共施設等)の活用方法や、高齢化や転出等により地域を盛り上げる実行組織の確保、また、今後計画的に地域を盛り上げるための計画の策定などについてアドバイスを受ける。                                      | 200         |
| 15  | 和歌山県 | かつらぎ町 | 公民館再発見! ~住民自治と社会教育と公民館の関係を学ぶ事業                   | アドバイザーを講師とした講座を開催<br>6月「住民自治(地域づくり)、社会教育、公民館の関係について」<br>8月「住民の思いを形にした公民館」<br>2月「公民館ができたことで地域は何か変わったか？」   | 90          |
| 16  | 鳥取県  | 北栄町   | 町民主体のPBL「ほくえい未来ラボ(ほくらぼ)」推進事業                     | (1)継続的にほくらぼを開催し、行政課題の解決のみならず、まちづくりを主体的に行う地域人材の育成を目的として、アドバイザーによる下記分野の講演を実施<br>・インフラと防災 ・インフラの維持管理と協働 ・提案の外部審査<br>(2)アドバイスを踏まえ参加町民(20名程度想定)がインフラ整備に関する提案を実施   | 200         |
| 17  | 岡山県  | 和気町   | 和気町関係人口創出イベント事業                                  | ロケ誘致の方法と地元住民への理解の促進、SNSなどを用いた情報の拡散についてアドバイスを受ける。   | 200         |
| 18  | 山口県  | 美祿市   | 協働による持続可能なまちづくり推進事業                              | 市職員を対象としたセミナーを年1回開催し、外部講師と意見交換を図りながら、地域社会に対する意識の改革や知識習得に繋げる。   | 119         |
| 19  | 愛媛県  | 宇和島市  | 宇和島市観光コンテンツクリエイティブ支援事業                           | ○アドバイザーによる講演、フォローアップを通して宇和島ならではの観光コンテンツをまとめる<br>○企画したコンテンツは市事業の採択後に商品開発  | 200         |
| 20  | 熊本県  | 山鹿市   | ふるさと未来創造事業                                       | eスポーツを活用し、地域のにぎわいづくりを行いたい地域づくり団体等や小学校の教職員へのプログラミング学習を実施し、人材育成及びeスポーツ大会の開催による地域内外の交流を促進   | 108         |
| 21  | 鹿児島県 | 鹿屋市   | 持続可能な「稼げる」地域づくり推進事業                              | 現地にアドバイザーを招聘し、コミュニティビジネスの起業や地域づくり団体の自主財源確保についてアドバイスを受ける。   | 148         |
| 22  | 鹿児島県 | 喜界町   | 移住促進・関係人口創出へ向けた空き家活用アドバイザー事業<br>~空き家問題から、空き家活用へ~ | 現地にアドバイザーを招聘し、実際に空き家の修繕を行いながら、修繕の方法や資金繰り、活用方法等について助言を受ける。  | 200         |